

事務事業名		桜植栽事業				<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:4: 自然環境と生活環境の調和のとれたまちづくり				所属課	建設水道課	担当	建設担当
	施策名	0:4: 快適な道路と公共交通網の整備				課長名	斎藤 秀人	担当者名	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
		1	0:7	0:2	0:1	0:0:1	道路維持費		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 28 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)			
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道461号は、片側2車線で計画し用地も土地改良事業で確保したが、現在は暫定1車線で供用している。未利用地の1車線分は土木事務所で年数回の草刈等を行っているが、雑草の生育が早く地元より草刈等の回数を増やしてほしい要望が多く、環境的にも好ましくないと言う意見もあるため、未利用の道路敷地を町が占用し、桜を植栽する人を募り、記念植栽を行なう。 ・植栽によって付近の環境整備を図り、地域住民及び町外からの来町者に憩いの場を提供するとともに、道の駅の利用促進を図る。 ・総延長5.4Kmの内、道の駅交差点より川村入口交差点までの480mを植栽し、その後の状況によって延長していく。 <p>2 概算事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・植栽準備費 ①実施年度 桜植栽本数46本 土壌改良、植栽支柱添木、19,440円×46箇所=894,240円 植栽前の除草等2,400㎡×120円×1.08=324,000円 計1,218,240円 ・維持管理費 ②2年目以降 除草(年5回 324,000円×5回=1,620,000円 追肥(1回)750円×46箇所×1.08=37,260円 病虫害防除(2回)30,000円×2回×1.08=64,800円 計 1,722,060円 							

(1) 事務事業の目的と指標			
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	名称	単位
未利用国道敷地の環境整備	→	ア 占用面積	㎡
		イ 植栽本数	本
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	名称	単位
未利用の国道敷地	→	ア 占用面積	㎡
地域住民及び道の駅利用者		イ	
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称	単位
未利用地の国道敷地の環境美化を図るとともに、地域住民及び町外からの来町者の交流を図る	→	ア 地域住民及び来町者	人
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移									
		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度	
活動指標	ア	目標値	㎡	2,400	2,400	2,400	2,400	5,000	5,000
		実績値	㎡						0
	イ	目標値	本	46	46	46	46	100	100
		実績値	本						0
対象指標	ア	目標値	㎡	2,400	2,400	2,400	2,400	5,000	5,000
		実績値	㎡						0
	イ	目標値	0						0
		実績値	0						0
成果指標	ア	目標値	人	420,000	430,000	440,000	450,000	450,000	450,000
		実績値	人						0
	イ	目標値	0						0
		実績値	0						0

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度		
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0		
		県支出金	千円				0		
		地方債	千円				0		
		その他	千円				0		
		一般財源	千円	1,220	1,730	1,750	1,800	3,500	3,500
		事業費計(A)	千円	1,220	1,730	1,750	1,800	3,500	3,500

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円				0
		県支出金	千円				0
		地方債	千円				0
		その他	千円				0
		一般財源	千円				0
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	公共用地(国道敷地)であり、一般住民及び各種団体等の占有は出来ないため、町が占有申請を行い事業を実施する。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	地元からの環境整備の要望が年々多くなってきている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	桜等の苗木は無償提供になるが、除草等の管理はシルバー人材センターに委託し、経費の削減を図る。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	町が占有し維持管理を行うため、受益者負担はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 7 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・2年後に中間評価を行うこととする。

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業